学校だより

翔　　空

№２５　平成２３年１０月２７日（木）
郡山市立喜久田中学校長　大堀　昌弘

「翔空（しょうくう）」の由来　〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、風光明媚（ふうこうめいび）なこの学舎（まなびや）から、希望に燃え限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

［放射線量計について］

現在配付され身に付けているバッジですが、あちこちに置き忘れたりしていませんか？「生活記録票」とともに着実に管理し、正確なデータが出るように身に付けて生活してください。

今行っているのは、第１回目の計測で、１０月５日～１１月７日までとなっています。もうすぐ回収となりますのでご準備ください。（１１月７日朝）なお、第２回目の実施は、１１月７日朝～来年１月１０日までの期間となります。前回希望調査をとりましたので、その結果にしたがい来月７日の朝に新しいものを配付いたします。また、今回の結果については、１１月２０日頃に配付される見込みです。

【世界の名言（英語版）④】

「世界の名言」の第４弾です。どうぞお楽しみください。

Never　complain.
Never　explain.

（文句を言わない。言い訳をしない。）　～キャスリーン・ヘップバーン（女優）～

何となく母親の小言のように聞こえるかも知れませんが、ためになる言葉であることには間違いありません。

この言葉の裏には「人のせいにしたり、文句を言ったりしている時間があったら、もっと前向きに考える時間にあてるべきである」のような意味合いが含まれているのではないでしょうか。今回、この名言を読んで、「過ぎてしまったことにこだわるより、前向きに未来指向型で考えていこう」と考えを改めました。

「翔空祭を通して思うことパートⅡ」

～文化祭の反省集計結果より見えること～

前回は、「文化祭を通して私の思うこと・感じたこと」を述べましたが、今回は、生徒自身はどうだったのか（どう感じたのか）などを紹介いたします。

まずは、次のアンケート結果をご覧ください。回答された数（分母の数）が違いますので、一応％で示してみたいと思います。

１）今年の文化祭は、充実していましたか。
　・・・９０％が満足（１７０名）
２）合唱コンクールにしっかり取り組めましたか。
　・・・８７％がしっかり取り組んだ（１７４名）
３）学年発表の劇にしっかり取り組めましたか。
　・・・８８％がしっかり取り組んだ（１８１名）

※（要望事項）
○　さらにもっと盛り上がったらよいなあ。
　（１・２年生や先生方も）
○　先生方の合唱などがプログラムに入るといいなあ。
○　お昼の混雑を解消したい。
○　豚汁が毎年余るので必要な量を作ってほしい。

反省としては、誠に妥当なものだと思います。生徒自身が自分たちを正しく評価したものと考えます。たぶん、昨年度も同じような感想を持ちながら文化祭を終えたのだと思います。１年生は、来年こそは今の２年生以上のものを、２年生は、現在の３年生以上のものをめざしたいという気持ちで反省を締めくくったのではないかと思います。そんな気持ちが伝統となって引き継がれ、すばらしい翔空祭が毎年実施されるのではないでしょうか。

さて、今回の劇の発表、本当に素晴らしかったと思います。生徒の成長の度合いに応じたテーマや中身、そして生徒のアドリブや機転の利いた演出等々、感心することばかりです。３年生の「ロミオとジュリエット」は、あの有名なシェークスピアの作品の現代版でおもしろおかしく表現していましたし、２年生の「白雪姫」もまたコミカルで来年度の開花を予感させるものでした。そして１年生の「『（ありがとう）』とさけびました。」も小学校から入学して半年とは思えない出来ばえでした。ちなみに、後で聞いた話なのですが、２年生のあの白雪姫の衣装、自前で作った物だったというのは驚きです。（拍手）

文化祭が終わると、残念ながら、３年生にとっては進路指導一色となります。１１月７日［月］からの三者面談等を利用して、生徒一人一人が、自分のめざす進路を決めなくてはなりません。学校としては、勿論精一杯の助言を与え、その進路実現が確実になされるよう支援して参ります。

フレー、フレー３年生！